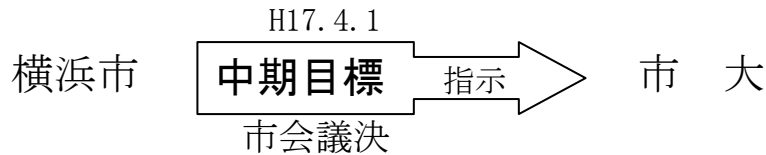




公立大学法人横浜市立大学の現状と課題について  
 ~~~中期目標・中期計画の達成へ向けて~~~

1 中期目標・中期計画への取組



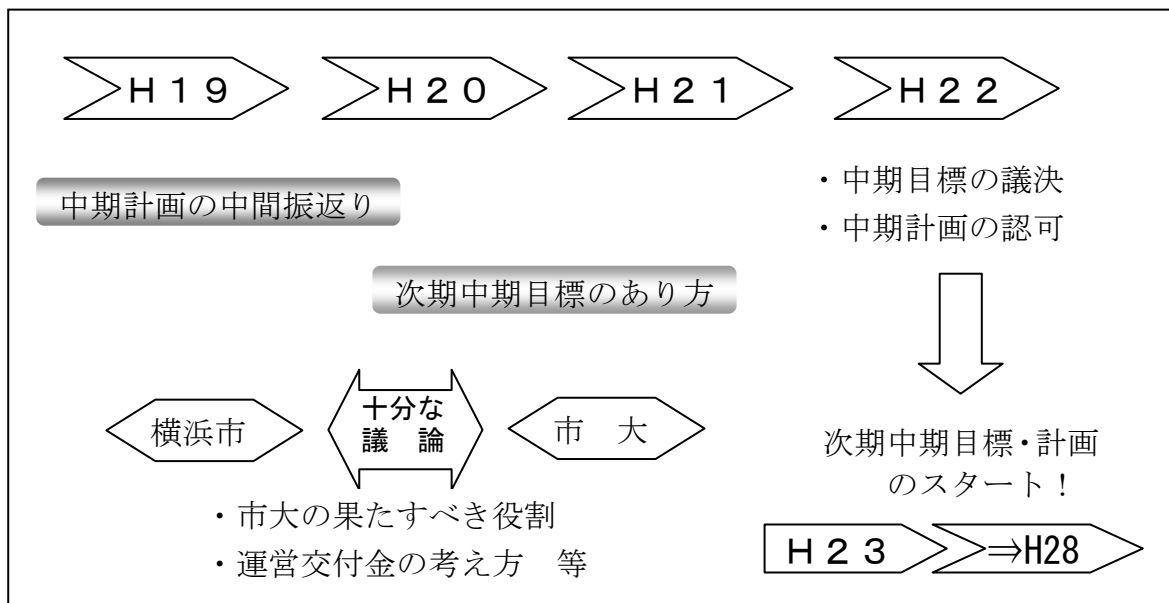
基本的な目標（中期目標から抜粋）  
 横浜市立大学が、市が有する意義ある大学として、市民が誇りうる、市民に貢献する大学となること。更には、発展する国際都市・横浜とともに歩み、教育に重点を置き、幅広い教養と高い専門的能力の育成を目指す実践的な国際教養大学となること。

中期目標・中期計画期間（17～22年度）

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|------|------|------|------|------|------|

横浜市公立大学法人評価委員会の評価結果

- 平成17年度：「年度計画を概ね順調に実施している。」
- 平成18年度：「年度計画を概ね順調に実施している。」



## 2 課 題

中期計画期間の3か年目に至り、法人運営上の重要な課題についてご報告いたします。

○現行の中期目標において市大の目指すべき方向性は示されていますが、財政的な面においては運営交付金の削減という事に焦点が当てられています。

財政的な裏付けがない状況の中で、市大の新たな魅力作りに向けて戦略的な展開ができない状況にあります。

以下に具体的な事項を示します。

### (1) 教育内容

- ・学部、大学院教育の充実
- ・臨床試験専門職大学院の新設
- ・既存体制を廃止することの困難性 等

### (2) 施設設備

- ・金沢八景キャンパスの再整備
- ・耐震補強工事
- ・I T環境の整備
- ・病院の機器更新 等

現行の中期目標、中期計画  
上において具体的に位置付  
けられていません。

### (3) 法人運営

- ・合意形成のさらなる迅速化
- ・諸会議の効率的な運営
- ・情報伝達の徹底 等